

リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信機は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信機で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信機の周囲にしゃべい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃべい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- 点灯直後、全灯時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えしてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際カベコン機能が動き全光点灯などになることがあります。

リモコンホルダーのご使用方法

- リモコン送信機の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取付けてご利用ください。
- リモコンを操作する際は、ホルダーから送信機を外して器具に向けてください。



故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
リモコン送信機で照明器具が操作できない。	照明器具とリモコン送信機のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光灯ランプが切れている。	蛍光灯ランプを交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
予約時刻になっても動作しない。	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池ふたを開けて、先の細いものでリセットボタンを押してください。(右図参照)
	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	時刻が合っていない。	時刻を合わせてください。
	照明器具に信号が届いていない。	照明器具が動作する場所に置いてください。

保証について

- 保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
 - ※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
 - ※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。
- 保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 2.施工上の不備に起因する故障や不具合
 - 3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
 - 4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
 - 5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - 6.日本国内以外での使用による故障および損傷
 - 7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
 This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
 No servicing is available outside of Japan.

この説明書は再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
三菱電機照明株式会社 http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
 製造会社 照明技術相談センター ☎(0120)348-027(フリーダイヤル) ☎(0467)41-2736 FAX(0467)46-8861

MITSUBISHI

リモコン送信機

形名 RZ05

取扱説明書

○CPHFを取付ける場合は、照明器具の点灯・消灯用の壁スイッチが部屋についていることを確認してください。ついていない場合は壁スイッチでの照明器具の操作はできません。壁スイッチのある部屋に取付けてください。

安全のために必ずお守りください

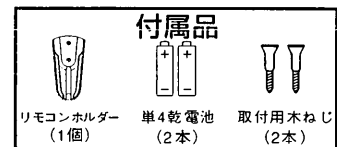
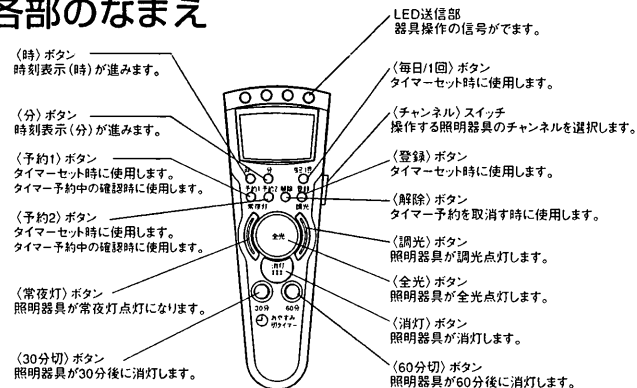
図記号の意味は次のとおりです。

- ⊘ 絶対に行わないでください。
- ⚠ 必ず指示に従って行ってください。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

<p>⊘ 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ■乾電池の(+), (-)を逆に入れたり、新・旧・他の種類の電池を混ぜて使わない → けが・故障の原因 ■乾電池をショート・分解・加熱したり、充電したりしない → 液漏れ・破損・発熱によりけが・故障の原因 	<p>⚠ 厳守</p> <ul style="list-style-type: none"> ■長期間使わないときは電源を切る → 感電・火災の原因 	
---	---	--

各部のなまえ



●電池の入れかた
 電池収納ふたの▼印の位置を押しながら矢印方向にはずす。乾電池の⊕、⊖を確かめて入れる。電池収納ふたをしめる。

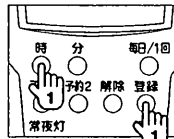
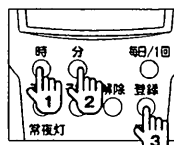


液晶表示パネルについて

※説明のため、全部を表示しています。実際にはこの表示にはなりません。

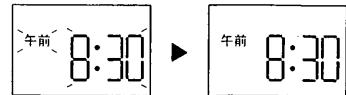
- タイマー表示: タイマーをセットした場合に表示します。
- おやすみマーク: おやすみ切タイマーセット中に表示します。
- 電池残量表示: 電池の残りが少なくなると表示します。マークが表示したら電池を2本とも新しいものに交換してください。※リモコン機能が正しく動作しません。
- 設定内容表示 (予約)を設定する時に表示します。タイマーをセットした場合に表示します。
- 毎日表示: 予約した設定を毎日繰り返します。
- 1回表示: 設定した内容を1回行います。
- 点灯・消灯状態表示: 設定した点灯状態または消灯を表示します。
- 時計表示: 現在時刻を表示します。予約内容を確認した場合は予約時刻を表示します。

時計の合わせ方



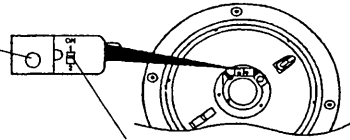
- 注) 時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に作動しません。
- 〈電池投入時〉
 ※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。
1. 〈時〉ボタンで時刻を合わせます。
 〈時〉ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。
 2. 〈分〉ボタンで分を合わせます。
 〈分〉ボタンを押すごとに1分単位で進みます。
 3. 〈登録〉ボタンを押して決定します。
 ※ボタンを押し続けると1秒間隔で時刻を送ります。
 ※早押しすると早く時刻が送れます。
 例) 午前8:30に設定する場合
 点滅から点灯になり完了。

- 〈時刻を変更するとき〉
1. 〈時〉+〈登録〉ボタンを同時に押します。
 ※時刻表示が点滅します。
 2. 「電池投入時」の1~3と同じ手順で時刻を登録します。



器具本体スイッチ

受信部
リモコンからの信号を受ける。



器具側チャンネル切替スイッチ
1CH (チャンネル) に設定してあるので、
リモコンのチャンネル切替スイッチも1CHに合わせる。

2台の器具を操作する場合

器具側とリモコンのチャンネル切替スイッチを次のように設定すると、個別操作と同時操作ができます。

○ 1台のリモコンで2台を同時に操作する場合(同時操作)

	器具側	リモコン側
1台目	1CH	1CH
2台目	1CH	

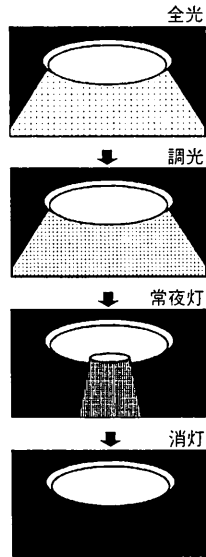
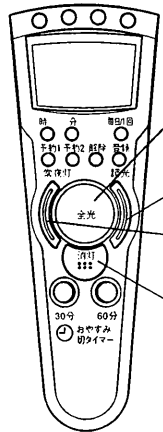
○ 2台を個別に操作する場合(個別操作)

	器具側	リモコン側
1台目	1CH	1CH
2台目	2CH	2CH

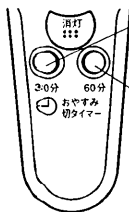
照明器具の操作のしかた

[RZ05]

・「全光」・「調光」・「常夜灯」の3つの照明
パターンがお好みのボタンで選べます。



オフタイマーモード

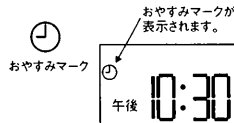


30分OFFタイマーボタン
30分後消灯します

60分OFFタイマーボタン
60分後消灯します

※オフタイマーモード中にオフタイマーボタン以外のボタンを押すと解除されます。

※オフタイマーモード中にオフタイマーボタンを押すと、オフタイマーカウントがリセットされ再度オフタイマーがセットされます。



※〈30分〉または〈60分〉ボタンを押します。
液晶画面におやすみマークが表示されます。

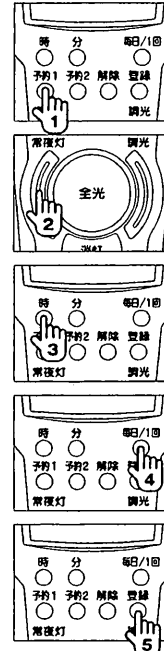
ON/OFFタイマーの設定のしかた

■タイマー予約をする

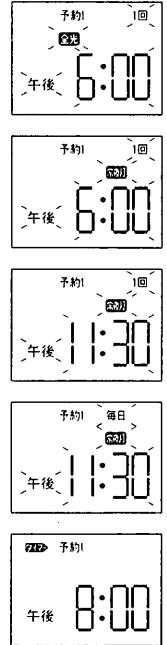
タイマー機能を使って照明器具を「全光点灯」、「調光点灯」、「常夜灯点灯」、「消灯」させることができます。「設定」はダイレクトに選択できます。

※時計を正しい時刻に設定しておいてください。
(時計の合わせ方参照)

例)「午後11:30に毎日常夜灯点灯する」を「予約1」に登録する場合



1. 〈予約1〉ボタンを押します。
画面が点滅します。
※「予約1」または「予約2」にタイマー登録されている状態では、〈予約1〉〈予約2〉ボタンは確認のみです(点滅しません)。「タイマー予約中の内容を変更する」を御参照の上設定ください。
2. 〈常夜灯〉ボタンを押します。
点灯状態は、「全光」、「調光」、「常夜灯」、「消灯」の中から選べます。
3. 〈時〉、〈分〉ボタンで時刻を決定します。
〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
〈分〉ボタンを押すごとに、10分単位で進みます。
※ボタンを押し続けると1秒間隔で時刻を送ります。
※早押しすると早く時刻が送れます。
4. 〈毎日/1回〉ボタンを押します。
毎日もしくは1回を設定します。
〈毎日/1回〉ボタンを一度押すと、毎日に設定となります。〈毎日/1回〉ボタンを押すたびに、「毎日」と「1回」が切替ります。
5. 〈登録〉ボタンを押します。
液晶画面に「タイマー」、「予約1」が表示され、現在の時刻表示に戻り、登録完了です。
※2. 3. 4. の操作はどの順番でも設定できます。



工場出荷時のメモリ状態

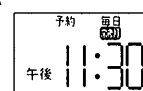
	点灯状態	設定時間	毎日/1回	タイマー
予約1	全光	午後6:00	1回	OFF
予約2	消灯	午後9:00	1回	OFF

工場出荷時のメモリを使用する場合は
〈登録〉ボタンを押します。
※電池交換すると工場出荷時のメモリ状態に戻ります。

■タイマー予約の内容を確認する

タイマー予約中の内容を確認できます。

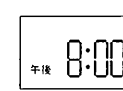
例)「予約1」の内容を確認する。
1. 〈予約1〉ボタンを1回押します。
現在のメモリ設定内容が表示されます。
〈予約1〉または〈登録〉ボタンを押すと、時刻表示に戻ります。また、5秒間何も押さないで時刻表示に戻ります。



■タイマー予約を解除する

タイマー予約中の内容を解除します。

例) タイマー予約中の「予約1」の内容を解除するとき。
1. 〈予約1〉ボタンを押します。
現在のメモリ内容が表示されます。
2. 〈解除〉ボタンを押します。
「タイマー」と「予約」の表示が消え時刻表示に戻ります。
※〈毎日/1回〉ボタンで1回を選択した場合は、信号送信後に自動的に解除されます。



■タイマー予約中の設定内容を変更する

例)「予約1」の設定内容を変更するとき。
1. 〈予約1〉ボタンを押します。
現在のメモリ設定内容が表示されます。
2. 〈解除〉ボタンを押します。
3. 「ON/OFFタイマー予約をする」の1~5の操作をします。
※一度解除しないと予約の設定内容は変更できません。